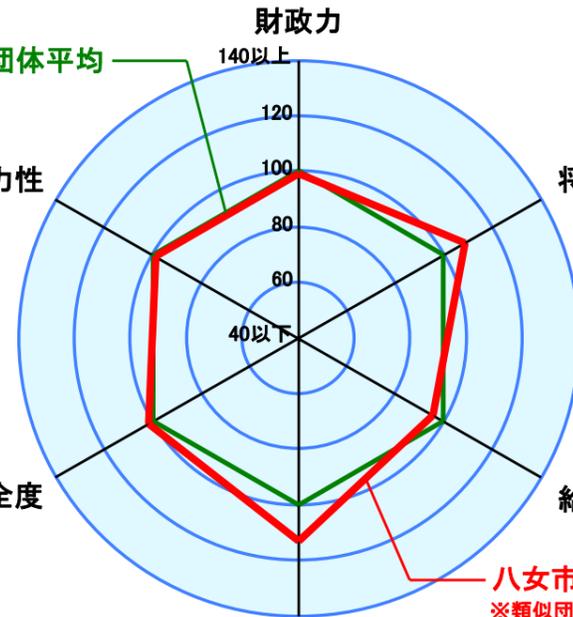


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

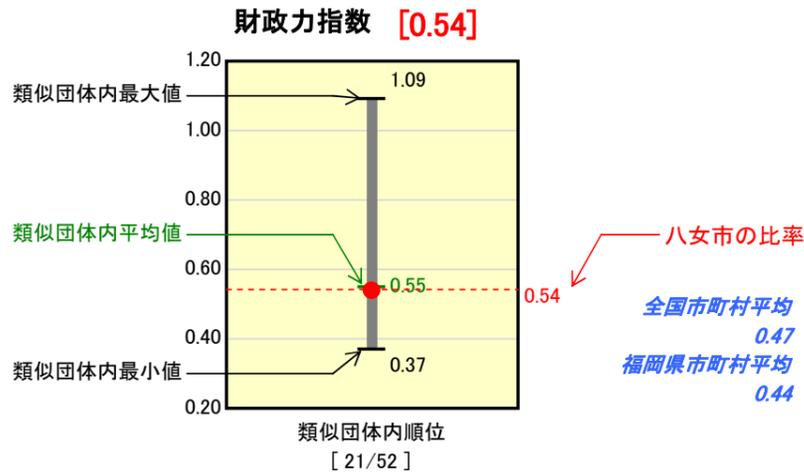
福岡県 八女市

人口	39,129人(H17.3.31現在)
面積	39.34 km ²
歳入総額	13,430,070千円
歳出総額	12,784,381千円
実質収支	583,468千円

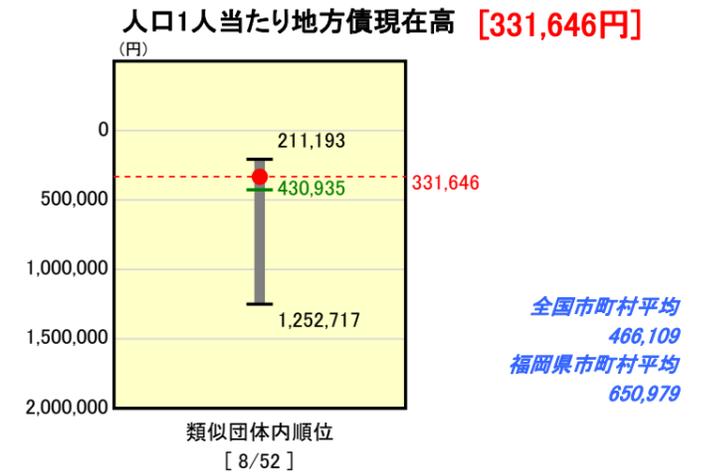


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

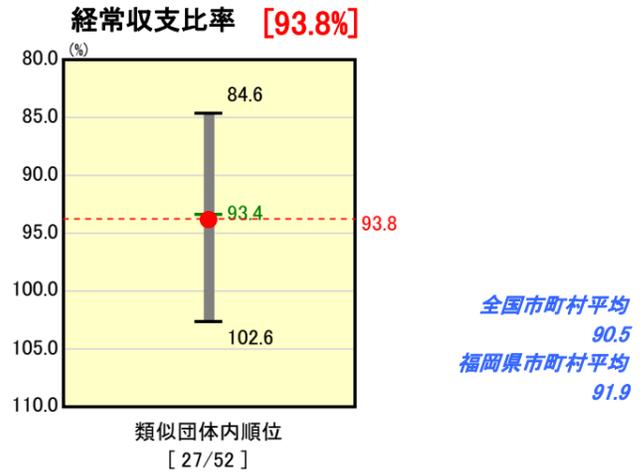
財政力



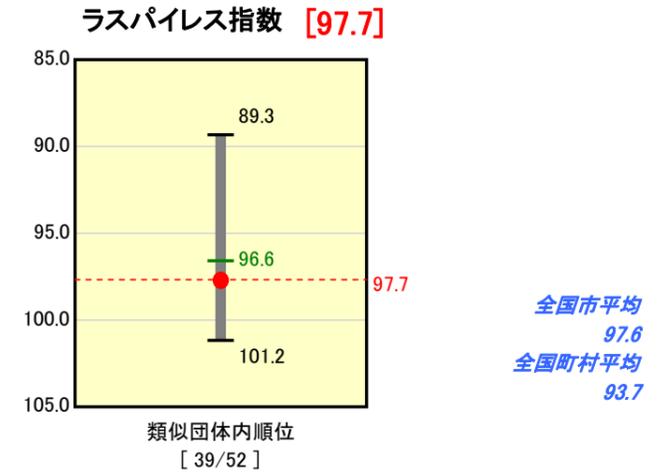
将来負担の健全度



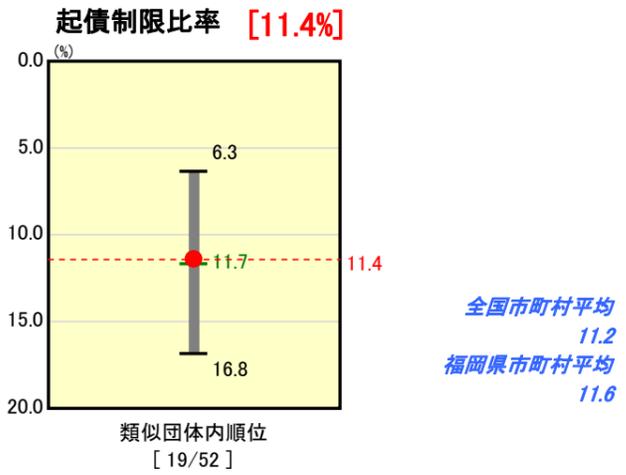
財政構造の弾力性



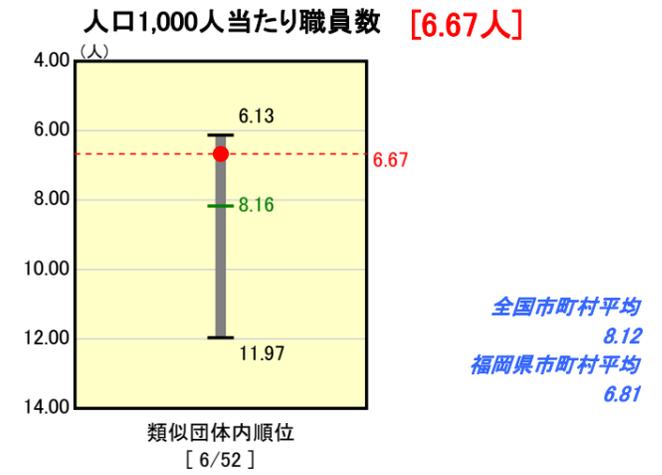
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
人口減少や全国平均を上回る高齢化率(17年3月末22.6%)に加え、基幹産業である農業、中小商工業においては後継者育成などの課題解決が急務とされている。このため財政基盤が弱く、類似団体平均値を維持している状況。公共施設の指定管理者制度の導入により、効率的な施設運営を実施すると共に、第3次八女市総合計画実施計画に沿った、市民と協働のまちづくりを展開し、行政効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

○経常収支比率
生活保護受給世帯の増加などに伴う福祉関係経費の増加により、比率は年々悪化している(対前年度比1.0%ポイント上昇)、類似団体平均値を0.4ポイント上回っている。このため人件費(職員給料3%、特別職報酬20%減)や退職者不補充などによる義務的経費の削減を実施、今後とも事務事業の見直しを更に進めるとともに、有識者による補助費等の廃止・縮減を進め経常経費の削減に努める。

○起債制限比率
八女市第3次総合計画実施計画のもと、市民のニーズに合った適量・適切な事業を推進しており、類似団体平均値をわずかに下回っているが、今後も緊急性と重要性のある事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

○人口一人当たり地方債現在高
単独事業の27%程度の抑制に努めるとともに、新たな起債の発行額を元利償還金以内に抑えることで、類似団体平均値より大きく下回っている。今後は、八女市第3次総合計画にある義務教育施設(校舎大規模改造事業など)が見込まれるが、他事業における地方債の発行額の抑制などにより財政の健全化を図る。

○ラスパイレス指数
財政健全化に向け、平成17年度から2年間の全職員の給料月額3%カットの実施により、類似団体の中では中位以下であるが、今後は抜本的な給与体系の見直しを図り、より一層の給与の適正化に努める。

○人口1,000人当たり職員数
平成13年度以降は、新規職員の採用抑制及び退職職員不補充の継続推進を図ってきたことにより、類似団体の平均を下回っているが、平成18年10月の上陽町との合併後の新市において、より適切な定員管理に努める。